

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社共同紙販ホールディングス
 コード番号 9849 URL <http://www.kyodopaper.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 郡司 勝美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理企画本部長 (氏名) 木村 純也

TEL 03-5548-7521

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	16,182	△12.2	27	△85.3	24	△83.0	23	△29.3
21年3月期第3四半期	18,432	—	184	—	144	—	32	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	3.48	—
21年3月期第3四半期	4.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	12,006	2,821	23.5	424.79
21年3月期	12,149	2,772	22.8	417.43

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,821百万円 21年3月期 2,772百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△8.6	100	△51.0	85	△42.2	75	—	11.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 7,353,443株 21年3月期 7,353,443株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 710,650株 21年3月期 710,650株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 6,642,793株 21年3月期第3四半期 6,643,824株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の紙業界は、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷など国内経済が厳しく推移している中、需要が回復せず、厳しい経営環境が続いてまいりました。

かかる状況のもと、当社グループは、採算性を重視した販売活動を徹底してまいりましたが、需要の低迷による販売数量の減少により、売上高は16,182百万円(前年同四半期比12.2%減)となりました。

利益面につきましては販管費の削減や金融コストの圧縮を図ったものの売上高の減少により営業利益は27百万円(前年同四半期比85.3%減)、経常利益は24百万円(前年同四半期比83.0%減)となり、四半期純利益は23百万円(前年同四半期比29.3%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 洋紙卸売業

当事業部門におきましては、売上高は16,139百万円(前年同四半期比12.2%減)となり、利益面では、販管費の削減に取り組みましたが売上高の減少により営業利益は8百万円の損失(前年同四半期は140百万円の利益)となりました。

② 不動産賃貸業

当事業部門におきましては、売上高は109百万円(前年同四半期比0.2%減)となり、営業利益は35百万円(前年同四半期比17.8%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて142百万円減少し、12,006百万円となりました。これは主に現金及び預金が489百万円増加し、受取手形及び売掛金が263百万円、商品及び製品が182百万円及び未収入金が100百万円それぞれ減少したためであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて191百万円減少し9,185百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が824百万円及び長期借入金が300百万円それぞれ増加し、1年内償還予定の社債が500百万円及び短期借入金が750百万円それぞれ減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて48百万円増加し、2,821百万円となりました。これは主に保有株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が23百万円増加したためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年11月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から現時点において変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 経過勘定科目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,044,805	555,432
受取手形及び売掛金	4,790,363	5,054,259
商品及び製品	708,488	891,400
未収入金	660,268	760,461
その他	54,532	67,928
貸倒引当金	△41,700	△51,909
流動資産合計	7,216,756	7,277,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,605,242	2,605,242
減価償却累計額	△1,202,685	△1,149,531
建物及び構築物(純額)	1,402,556	1,455,711
機械装置及び運搬具	302,147	302,972
減価償却累計額	△256,765	△248,345
機械装置及び運搬具(純額)	45,381	54,627
土地	1,501,769	1,501,769
その他	134,237	131,696
減価償却累計額	△99,328	△87,416
その他(純額)	34,909	44,280
有形固定資産合計	2,984,617	3,056,388
無形固定資産		
のれん	727,391	757,284
その他	66,082	87,191
無形固定資産合計	793,474	844,476
投資その他の資産		
投資有価証券	532,984	491,091
出資金	218,851	218,851
その他	260,181	261,166
投資その他の資産合計	1,012,017	971,108
固定資産合計	4,790,109	4,871,973
資産合計	12,006,865	12,149,546

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,881,436	6,057,095
短期借入金	850,000	1,600,000
1年内償還予定の社債	—	500,000
賞与引当金	39,120	79,170
その他	187,060	227,292
流動負債合計	7,957,616	8,463,558
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	300,000	—
退職給付引当金	404,951	393,463
その他	22,500	19,600
固定負債合計	1,227,451	913,063
負債合計	9,185,068	9,376,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,381,052	2,381,052
資本剰余金	776,560	928,340
利益剰余金	21,275	△153,767
自己株式	△258,061	△258,061
株主資本合計	2,920,827	2,897,563
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△93,045	△116,373
為替換算調整勘定	△5,984	△8,264
評価・換算差額等合計	△99,029	△124,638
純資産合計	2,821,797	2,772,925
負債純資産合計	12,006,865	12,149,546

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	18,432,378	16,182,927
売上原価	16,117,978	14,185,809
売上総利益	2,314,399	1,997,118
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	877,126	833,261
賞与引当金繰入額	35,202	38,399
退職給付費用	79,709	84,993
減価償却費	95,698	72,094
その他	1,042,545	941,247
販売費及び一般管理費合計	2,130,282	1,969,997
営業利益	184,116	27,120
営業外収益		
受取利息	4,061	4,169
受取配当金	30,015	25,611
設備賃貸料	8,283	8,602
その他	7,770	3,451
営業外収益合計	50,130	41,834
営業外費用		
支払利息	34,497	21,784
手形売却損	29,337	14,227
支払手数料	16,503	—
その他	9,592	8,352
営業外費用合計	89,930	44,364
経常利益	144,316	24,590
特別利益		
投資有価証券売却益	3,960	—
貸倒引当金戻入額	69,914	12,904
特別利益合計	73,874	12,904
特別損失		
固定資産除却損	667	—
投資有価証券評価損	156,661	—
事務所移転費用	20,246	—
特別損失合計	177,575	—
税金等調整前四半期純利益	40,615	37,494
法人税、住民税及び事業税	7,953	14,396
法人税等合計	7,953	14,396
四半期純利益	32,662	23,098

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし